

10月15日(木曜日)「主の祈り(1)」

【新改訳 2017】

ルカ 11.1-4

「祈る時には、こう言いなさい。『父よ。御名があがめられますように……』」(2節)

マタイ 6.9

「だから、こう祈りなさい。『天にいます私たちの父よ。御名があがめられますように。』」

きょうから「主の祈り」を少し詳しく学びます。祈りの中の祈りとも言われ、ほとんどのキリスト教会では、礼拝やその他の集会で、よく一同で祈ります。弟子たちの要望に答えて、主イエスが教えてくださったので、主の祈りと言われます。簡素ですが、意味は深い祈りです。

まず、神に向かって、「天にいます私たちの父よ」と呼びかけます。

「天」は、距離的に遠い、高いところのことではなく、俗世界とは違ったところを意味し私たちが祈ると聞いてくださる近いところでもあります。また、神は、「私たちみんなの父」と呼

ばれるお方です。父は、生命の親であり、保護者です。ですから、親しく、信頼して祈りなさいということです(マタイ7.11参照)。

～祈り～

主よ。あなたは私たちに、「万物の創造主なる神」はあなたの御父でいらっしゃるとともに、「私たちの父なる神」でもいらっしゃることを教えてください、心から感謝いたします。

【学びのために】

マルチン・ルターの小教理問答書(聖文舎)から、参考のために、その一部を紹介します。「神はこれによって、神がわれわれのまことの父であり、われわれが神のまことの子であることを信じ、……全き信頼と安心とをもって神に求めることをおすすめるになります。」